

広報よもぎた

内容

- わが村の幼児教育②…幼稚園……………2～4
- 活動する婦人たち①……………5
- 郷土の歴史⑩…中国古銭を発見……………6～7
- 話題の広場・フィリピン参拝の記……………8～9
- ぎょうせい・国勢調査・学校体育施設開放
スクールバスからのお願い……………10～11
- 中沢地区“村づくり運動”実践中……………12～13
- 談話室・子ども会通信・ヤングメッセージ
戸籍の窓口……………14～16

NO. 134



でっかいのみつけた

8月・9月

合併号

1980

夏休みが終わり、2学期をむかえた蓬田幼稚園では、8月23日ジャガイモ掘りをしました。春にみんなてせっせと植えただけに、小さな畑は子どもたちの歓声で大さわぎ。

この日畑から出てきたものは、うまそうなジャガイモ・長いミミス・カマキリにコオロギ・てんとう虫に毛虫。なんとも収穫の多いイモ掘りで、園児たちはイモの次は虫を追いかけるのに無中でした。





●主任 坂本アキ子

良い生活習慣を 身につけましょう

お父さん、お母さんにお願
いします。お子さんが将来立
派な社会人として生活できる
ように、幼稚園時代は次のよ
うな良い生活習慣をしっかりと
身につけさせてください。

- 早寝早起きをする。
- 顔や手足をひとりで洗った
り、ふいたりできる。
- 衣服はひとりで脱ぎ着でき
る。
- 毎朝、家で排便する習慣を
つける。
- 便所は汚さず勝手に使っ
つ。
- なんでも食べる。
- このような身の回りの簡単
なことをきちんとできるよう
になれば、健康的な生活が保た
れます。それに、身体発育も
順調にすすみます。

特にお願したいこと

- 交通安全に必要な道路の歩
き方、横断の方法、交通信
号の見方などを覚えさせて
ください。
- 幼稚園への送り迎え、バス
停への送り迎えは必ず行い

- 欠席するときは、必ず理由
を届けてください。(電話
連絡等を忘れずに。)
- 子どもの伝言はまちがいがい
すいので、幼稚園の連絡帳
や電話を利用願います。
- 子どもの報告は、なんでも
よく聞いてあげましょう。
- 言いたくないのを無理に聞
きだそうとすると、何にも
報告しない子になってしま
います。
- 毎日、子どもの健康状態に
気をつけてください。熱が
ある、腹がいたいときには、
無理をしないでお休みさせ
てください。

自然の中で いきいき のびのびと

蓬田村に幼稚園が誕生したのは、昭和47年5月です。それまでは保育所がひとつあるだけでしたが、さらに充実した幼児教育を目指して、村立幼稚園の開設に踏みきったものです。幼稚園の修業年限は1年で、小学校就学前の5歳児1年教育を実施しています。

幼稚園は、学校のように勉強を教えるところではありません。楽しく遊びながら(個人生活・社会生活・健康安全な生活)に必要な良い習慣や態度を養います。さらに、集団生活を通して子どもたちの自主性と創造性を伸ばすことに力を入れています。

それには、喜んで登園し、明るく元気に、だれとでも遊べるのが望ましいことです。教師は子どもとの心のつながりを大切に、ひとりひとりの子どもの個性を上手に伸ばすことに努力しています。

日 課 表

夏 期 (4月~10月)	活 動 内 容	冬 期 (11月~3月)
~ 8:45	登 園	~ 9:05
~ 9:30	自由あそび	~ 9:50
9:30~10:00	片づけ・体操・集会	9:50~10:10
10:00~11:30	一 斉 保 育	10:10~11:30
11:30~12:20	昼 食	11:30~12:20
12:20~13:00	自由あそび・午睡準備	12:20~13:00
13:00~14:30	午 睡	13:00~14:10
14:30~15:00	めざめ・降園準備	14:10~14:30
15:00~15:20	お や つ	14:30~14:50
15:30	降 園	15:00



ひとりひとりの
個性を大切に。

●うぐいす組
(男12人・女19人)

●担任 藤田 寿

A君「先生、腹いで。」
B君「先生、Aちゃんだっけ、
食いたぐねんだね。」
A君「先生、頭いで。」
私「食べてしまえば、頭も
おなかもおおるよ。かん
ばって食べようね。」
朝、幼稚園に来るとすぐ、
「きょうのおかず、なあに。
ちよつぷりちよつぷり。」な
どと聞く子もいる。給食の好
ききらいをなくし、残さず食

べてくれるか、私と子どもの
根くらべが始まる。
男の子十二人。ひでき・さ
とる・ひろかず・けいいち・
さとし・なおゆき・たかまろ・
つとむ・かつひで・としいち
しのぶ・みちのり。
女の子十九人。よしたけい
こ・こまつじゅんこ・めぐみ・
きどじゅんこ・みか・ももこ・
こしたけいこ・ひろえ・しえ
こ・えつこ・なつこ・ゆうこ・
ゆきこ・ゆかこ・まきみ・ゆ
みこ・あゆみ・むつみ・たま
み。
三十一人それぞれに個性が
あり活発です。二組のふたご
もいて、四月初めは見分ける
のが大変でした。
「おいのトラクター、何馬力
あるのか知ってるが？ わだっ
け、いつもお父さんの手伝い
するんだ。きょう、幼稚園か
ら帰って、トラクターの展示
会見にいぐんず。先生もひで
いぐが。」
……トラクター博士より。
「先生、トレバンこれしかな
いの。この前、白いトレバン
はいたでしょ。あれカッコー
いよ。」
……おすましさんより。
自分で植えた大根に、マヨ
ネーズをつけて食べたらおい
しくて、葉っぱまで食べる子。
アサガオに水をやる子。マイ
マイを手のにせて遊ぶ子。廊
下の水をうにガの幼虫を入れ
ておいたら、「いっばい葉っぱ
食べてるよ。これなんの赤ち
やんだらう。」という子。飼
育栽培とおして、子どもた
ちにいろんな目を育てさせて
いきたい。

自分たちが植えたジャガイ
モを、いつ掘るのかと心待ち
にしているワンパクちびっ子
たちです。



けたはずれの
質問にドッキリ。

●かなりや組
(男13人・女20人)

●担任 三上あけみ

入園式後、三十三人のかな
りや組は、予想以上の大活躍。
いささか頭をかかえながら、
活気あふれる毎日を過してい
ます。
ひとりひとりが思う存分の
いたずらをして、けんかとか
んぱくぶりをくりひろげる十
三人の男の子。
二十人の女の子は、とても
おしゃまさんで、突然けたは
ずれの質問をします。返答に
困ることもしばしば。
子どもたちは小動物が大好
きです。外に出ると、さあ大
変。いつも外に行こうとさわ
いでいるので大喜びです。各
自が観察ケースを持っては、
小さな虫でも大きな虫をつか
まえたかのようににはしゃぎま
す。草の上をピョンピョン飛
ぶ虫があるものなら「それっ」とばかり、虫との追いかけつ
こを始めます。
この夢中でかきまわる子ど
もたちの様子を見てみると、
とてもたくましく思えます。

子どもたちは、自分でつかま
えた虫を、とても熱心に面倒
を見ます。
お話をしているときに、ま
だ少し行儀が悪かったり、お
しゃべりがあつたりします。
クラスの一人が、おもしろい
ことをするたびに、それにつ
られてクラス全体がザワザワ
することがあります。
かなりや組の今後の課題は
お話を上手に聞ける子どもに
なってほしい。それに、小動
物が大好きなので、その熱心
さがおもしろい心につなが
ってほしいと思います。



領域別年間計画

健康	<ul style="list-style-type: none"> ●うがい、手洗いなど健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。 ●友だちといっしょに、リズムカルな集団遊びを楽しむ。 ●適切な服装で運動する。 ●交通安全のきまりや避難の仕方を身につけ、生命の大切なこと、危険から身を守ることを知る。 ●ルールのある遊びをしたり、遊具の使い方を工夫し、力いっぱい遊ぶ。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●良い悪いの区別をして、集団でのきまりを守って遊ぶ。 ●友だちとのグループ活動にすすんで参加する。 ●自分たちのために働いている人がいることを知り、関心と親しみをもつ。 ●自分のことは自分でする。●物を大切ににする。 ●身近な世の中のできごとに興味や関心をもつ。 ●約束を守る。●最後までやりとおす。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ●動植物の観察や世話を通して、成長の様子や特徴を知る。 ●季節の変化と動植物の生活の変化に気づく。 ●日常生活や遊びの中で〈速さ・長さ・時間・数量・図形〉などに興味をもつ。 ●身の回りにある物の性質に関心をもち、ためしてみたり、考えたりする。 ●自然物を集め、分類したり数えたりする。
言語	<ul style="list-style-type: none"> ●人の言葉や話などを聞いてわかるようになる。自分でも相手にわかるように話せる。 ●あいさつをすすんでする。 ●絵本・紙芝居・放送などを見たり聞いたりし、内容がわかる。 ●文字に関心をもつ。 ●グループやクラス全体でお話を考えたり、思っていることをすなおに言葉で表現し、紙芝居づくりや劇的活動を楽しむ。
音楽リズム	<ul style="list-style-type: none"> ●すなおな声、はっきりした言葉で音やリズムに気をつけて歌う。 ●リズム打ちや拍手打ちなど、いろいろな楽器の奏法を知り楽しむ。 ●見たり聞いたり経験したことを、音や体の動きで表現する。 ●簡単な歌詞を考えて、旋律をつけて歌う楽しさを知る。
絵画製作	<ul style="list-style-type: none"> ●身近にある材料を自分で選び、自由に作ったり描いたりする。 ●いろいろな形や色を使って、さまざまな表現をする。 ●ごっこ遊びや劇的活動に必要なものを、友だちと協力して作る。 ●材料の準備や後片づけは最後までやる。 ●作品を見せあって、感じたことを話しあう。

五歳児の心とからだ

五歳児ともなると、顔つき、体つき、しぐさ、動作などが、これまでの幼児らしさから、子どもらしさへと変化します。自分ひとりですることができることも多くなり、すべてに安定感が出てきます。

●運動機能の発達

子どもは疲れを知らない、とよくいわれますが、血液や心臓の機能が一段と充実するのがこのころです。親もハラハラするほど活発に暴れまわります。

●情緒の発達

同じ年齢ぐらいの友だちと仲良く協調して遊ぶことができるようになります。ごっこ遊びは三歳ごろから始まっていますが依然盛んであり、その内容は複雑で組織化、分化するようになってきます。

歩くこと、走ること、ぶらさがったり、飛びおることも上手になります。身体のパランスがくずれたとき、反射的にひじや手で顔や頭を守る身のこなしができるように、外遊びの経験が十分必要なときです。

友だちをいじめたり、からかったりすることもありますが、気づんのいいときは、弱い子や年下の子どもをめんどくさくみて、お兄さん、お姉さんらしさも発揮します。自分より小さい子のわがままを許せるし、ダダをこねないで、ガマンすることも覚えます。

一方、他人から自分を認めてもらおうとする自己主張も出てきます。自分で自分の悪かったこと、よかったことのある程度批判や反省もでき、本当とウソの区別ができてはじめる年齢です。

主な年間行事

4月	●入園式 ●内科検診 ●発育測定
5月	●避難訓練 ●保育参観日 ●4月、5月の誕生会
6月	●春の遠足
7月	●親子遠足 ●6月、7月の誕生会 ●始業式 ●夏休み
8月	●夏休み ●始業式 ●発育測定
9月	●避難訓練 ●8月、9月の誕生会 ●運動会
10月	●秋の遠足
11月	●保育参観日 ●10月、11月の誕生会
12月	●生活発表会 ●12月の誕生会 ●終業式 ●冬休み
1月	●冬休み ●始業式 ●発育測定 ●避難訓練
2月	●豆まき ●就学児健康診断 ●保育参観日 ●入園説明会 ●1月、2月の誕生会
3月	●ひなまつり ●3月の誕生会 ●修了式

○青少年の健全育成は家庭から

●●防犯婦人部を結成●●

ここ数年間に及ぶ子ども問題行動増加は、「戦後第3ピーク」と呼ばれるほど、大きな社会問題に発展しています。

このようなか中で、蓬田村の婦人たちが、犯罪と非行のな
い明るい村づくりをめざして
防犯婦人部(部長・張間キヨ)を結成しました。これは蟹田

地区防犯協会・蓬田支部の下
部組織にあたります。
婦人部結成のねらいは、家
庭を守る主婦として、まずは
自分の家庭は自らの手で守る
こと。次代を担う子どもたち
を、良い家庭環境の中で育て
ることなど、特に家庭防犯に
力を入れます。

婦人部員の皆さんは、婦人
会・PTA・子ども会・母親
クラブ等の会合の際に、農繁
期や留守中の盗難予防対策、
青少年の健全育成の問題点を
議題にとりあげ、防犯思想の
普及をはかります。
隣近所が互いに声をかけあ
って、地域の子どもたちをみ
んなで見守る雰囲気づくり
つなげたいものです。



8月20日 婦人部結成式の会場に、県内防犯リレー旗が到着。

部 落	班 長	部員数
中 沢	坂 本 照 代	7 人
長 科	坂 本 貞 子	7 人
阿弥陀川	八 戸 し わ	7 人
蓬 田	清 水 きくゑ	7 人
郷 沢	高 田 ふづゑ	6 人
瀬 辺 地	飯 田 フ コ	6 人
広 瀬	川 崎 み わ	7 人
高 根	稲 葉 勝 代	7 人

あき巢がねらう円筒錠

昨年一年間に起きた忍び込
みや空き巣ねらいの被害は、
九十一億円にものぼります。
ちよっとした留守にも、カギ
をかける習慣をつけたいもの
です。

空き巣ねらいが「ひと仕事」とばかり目をつけるのが円筒錠です。このカギは、もともと室内用のカギとして作られたもので、カンヌキがついていません。

最近では、扱いが簡単なこと
もあって、玄関用にかなり普
及しています。これが空き巣
のねらいどころ。ちよっとし
た細工であいてしまうところ
が、この錠の欠点です。防犯
上は感心できません。
円筒錠に補助錠をつけたり

しめたはず
しまったはずでも
もう一度

ガードプレートをつけること
をおすすめします。ガードプ
レートは、ドライバーや針金
による、「小細工」から玄関を
守ってくれます。

カギの整備は十分でも、か
け忘れてはなんにもなりません。
隣り近所にひと声をかけ
お互いに注意しましょう。

玄関用は「CP」マーク

住宅用玄関カギを選ぶ際に
役立つのが、安全で性能のよ
い「CP」マークです。この
マークは、優良防犯機器とし
て警察庁長官の認定を受けた
カギにのみ、付けられています。

秋の農繁期が近づいていま
す。玄関のカギをもう一度見
直してみましよう。





■発見年月日
昭和55年5月23日
蓬田宇宮本の林道造成作業中に発見

■発見者
佐々木武光 (57歳)
(青森市後潟平野)

■発見枚数 595枚

■銭種数
現状において25種類

■7月14日：
発見された古銭について新聞社、テレビ放送局への記者会見が行われました。解説は京都平安博物館の岩本義雄先生。村の文化財審議委員も出席し、文化財の保護、発掘調査について検討しました。

郷土の歴史 — 10 — 文・倉谷弘孝

安東氏解明の糸口…中国古銭を発見

蓬田の山中からザクザク

中国古銭が発見された場所は、後潟の尻八館と蓬田城とを結んだ三角形の頂点にあたる。そこは国有林地内であり、よもや中国古銭があるとは思えないほど深い山の中である。

七月十四日、後潟の後方羊蹄郷土史研究会の例会に、私たち蓬田郷土史研究会のメンバーは出席した。そこで耳にしたのが、「蓬田の山の沢から古銭をみつけた人がいます。調べたら全部中国の古銭でした。」という話。

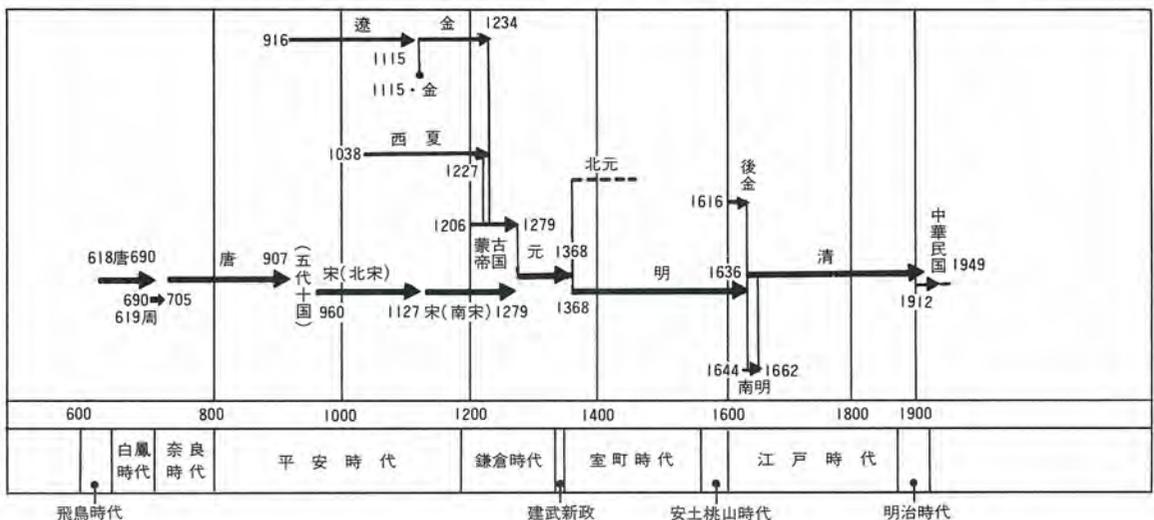
この一言は、私たちを限りない古代のロマンへとかりたてる。後潟ではなく、蓬田から発見されたのだからなおさらである。

さつそく古銭を借りてきた。その中には、麻かカラムシと思われるひもを通したのや、木箱片とみられるものに数十枚の古銭がくっついたものもある。つかむところにひもをクルクル回した鉄製の錠前もみえる。

県内からは他にも中国古銭がまとまって出土しているが、今回のような出土状況は珍しい。中国で度量衡制が確立したのが唐の時代であり、「開元通宝」が以後の銭の標準となった。規格は直径八分(約二・四センチ)、重さ三・七グラムとされている。

日本の和同開珎もこれにならったものである。その標準となる開元通宝も今回発見された中にあり、差しを通したままの古銭は百枚で三七〇グラムあった。一差し百枚単位で使っていることから、中世経済を知るうえで貴重な資料である。入れ物が木箱であったことも注目されることだ。

後日、同じ場所でも細谷靖信さんが中国古銭が入っていた箱の底板を発見した。薄い板に竹のくぎが使われていることから、大金が入っていた。



▶カギと推定される鉄製品



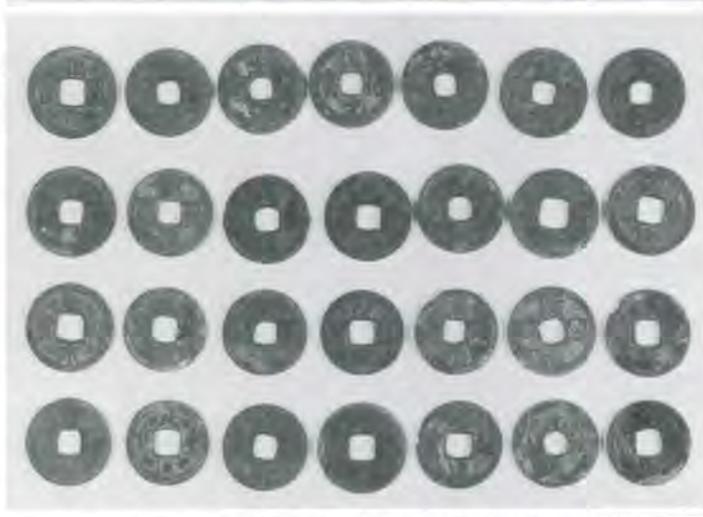
▶差しつきの古銭



▶木片つきの古銭



▶中国古銭



▶発見された古銭の種類

銭貨名	時代名	初発年次	銭貨名	時代名	初発年次
開元通宝	唐	621	元祐通宝	宋	1086
太平通宝	宋	976	紹聖元宝	"	1094
淳化元宝	"	990	元符通宝	"	1098
至道元宝	"	995	聖宋元宝	"	1101
景德元宝	"	1004	大観通宝	"	1107
祥符元宝	"	1008	政和通宝	"	1111
天禧通宝	"	1017	正隆元宝	金	1158
天聖元宝	"	1023	紹熙元宝	宋(南宋)	1190
景祐元宝	"	1034	慶元通宝	"	1195
皇宋通宝	"	1037	紹定通宝	"	1228
治平元宝	"	1064	至大通宝	元	1310
熙寧元宝	"	1068	洪武通宝	明	1368
元豊通宝	"	1078			

海上交易で活躍する「安東船」

たとは思われない。底板から推定して、「曲げ物」に少量の銭が入っていたと考えられる。お金の数量からして、蓬田城主の軍資金ではなく、有力な配下の武将が落城のとき隠したと思われる。

みつかった中国銭は二十五種類に分けられる。唐時代の開元通宝(六二一年)から明

時代の洪武通宝(一三六八年)まで、総数は五九五枚である。特に「正隆元宝」は、発見されるのが非常に少ないという。この銭は、満州(中国東北)の原住民女真族の国でつくられたものである。日宋貿易・日明貿易で、日本は多量の中国銭を輸入し、貨幣として使っていた。

市浦村の十三湊は「三津七湊」の一つに数えられ、当時では日本有数の港である。そこを根拠地とする安東一族は、

「関東御免」幕府公認の船を二十隻持ち、海上交通で活躍した。

貿易で巨利を得た安東一族は、若狭・越前・遠くは瀬戸内海から紀伊半島まで活動範囲は広がる。北海道の海産物を一手に引き受けていたらしい。蓬田山中からの中国銭出土は、幕府公認貿易の他に私的貿易として、「金」の国と交易していたことがうかがわれる。

青森県中世のなぞと「蓬田城」

蓬田城址からも洪武通宝が一枚発見されている。尻八館からは「開元通宝」から「永楽通宝」まで約三百枚出土している。北畠氏が居城した浪岡城と同等の大きさをもち、関東にも見られないくらい大きな濠(ほ)をめぐらした蓬田城。奥の山頂には石垣も連なる。当時の将軍と同じ中国製香

炉を持ち、京都より早く茶をたしなんでいた尻八館城主。その点を結んだT字形に、青森県中世のなぞがかくされている。

安東一族は記録を残さず、尻八館、蓬田城も黙して語らない。長い年月の中で、私たちは祖先がつくった偉大な城を忘れかけている。突如世に出た中国古銭は、「祖先の黄金の日々に、光をあてよ。」と語りかけている。

フィリピン参拝の記

〜8月21日蓬田村慰霊祭にて発表：高田ふづゑ〜



私は二十三歳で未亡人になりました。一度は夫の戦死した現地を見たいと思っていたところ、フィリピンのルソン島、レイテ島、コレヒドール島の参拝団に加わることができました。

東京到着後、九段会館に落ち着き、靖国神社を参拝。そのあと、成田空港からフィリピンのマニラへ飛んだのです。十二時ころ着きました。まず驚いたのは、出迎えの人がものすごく多いことと熱いことです。

マニラのラマルダホテルで一夜を過ごし、次の日自動車で出かけました。途中中舎に行くと、田植えもあり、稲刈りもあり、へんこぎで脱穀もありさまざま

です。馬は一頭もなく、牛で荒ぐりをかいていました。私たちが女学校時代に「モンテンルパの夜はふけて」と歌った、あのモンテンルパ刑務所には、角々の屋根の上に銃をかまえた番兵がいます。死刑台もあるそうです。

そこを歩いて通り小高いカリラヤの丘で、フィリピン九万五千人の慰霊祭を行ったのです。弘前から一人、新城から二人と三人の尼様。読経の声、とめどなく落ちる涙、涙……。

再びバスに乗り、島から島にかけられた橋、マルコシブリッジの中央で花や供物を投げ、海上供養をしました。この海で数万人の兵隊が死んだと聞き、涙を新たにしました。

激戦地レイテ島へ

二日目、マニラ空港からレイテ島のタクロパン空港に着きました。マニラと違って、道路は舗装ではありません。ガタガタバスはヤシの並木を百キロ以上ものスピードで、カギボツトに着きました。ここは激戦地で、フィリピンの半分五万人が戦死したところだそう。ヤシやバナナの木に囲まれて、立派な石碑が二つ並んで、民家の主人がはいたり草をとったり、きれいにしております。みんな出て出あつて、お金をあげてきま



綱引きだ 力を合わせろ!

7月24日は村民体育大会。幼児から高齢者まで総参加し、親睦をはかりました。競技種目の一番人気は、なんといっても綱引き。各部落は“打到郷沢”をめざして闘志満々。決勝は予想どおり郷沢対瀬辺地の対戦。大漁旗の応援をうけた郷沢は2対1の接戦の末、三年連続優勝をなしとげました。(写真は瀬辺地部落)



またオンボロバスに乗って、クラークに着きました。神風特別攻撃隊が第一回目に飛んだ飛行場たそうです。はち巻をして飛行機と共に散った兵隊たち。説明を聞いて身の切られる思いでした。兵隊の霊魂が蝶になって飛んでくると藤田先生が話してくれました。

三十四年ぶりの語らい ルソン・ダンバリット

夫の戦死したところは、ルソン島のダンバリットというところ。ここで戦死した人の家族は、藤崎の葛西さんと私の二人です。バスから降りると、先生は二人に二尺ばかりの塔婆を渡しました。何十年と夢に見たこの土地。塔婆を抱きしめたあの気持ち。胸がいっぱいです。石づたいに奥へ三十分ほど進むと、ただ石山ばかりで、果物の木は一本もなく、小さな竹や草があつちこつちにあるだけです。三百メートルばかり向こうに、古びた丸太が一本。そこが現場だそう。不便なせいか石碑がありません。つり橋が落ちていて、そこまで行くこともできません。

石のほら穴に二人の塔婆をたて、酒、タバコ、リンゴ、みかんなど供物をあげました。三十

四年ぶりで苦勞を語り、涙で顔をあげることもできませんでした。隣の葛西さんも男泣きに泣きました。読経の声と「海行かば」の歌の最中、一匹の蝶がくるくるとほら穴を回ると空高く飛んでいったそう。

拝んだあと、丁度憲兵隊が来たので供物を全部あげ「塔婆を向こうの現場にたててください」とお願いしました。石山で食べる物がなく、かえるを見ると草をかけてかくして食べ、竹の根を食へて下痢をする餓死状態の体。空から飛行機、地から戦車に押しつぶされ、ダムの水が血の水と化し、死体が重なりあつて流れたそう。

「靈魂が蝶になって…」

このあと、コレヒドール島に行くフェリーの待合所で、ヤシの木影に座っていたら、私の右手の親指にみかん色の大きな蝶が飛んできました。くつつくともなく、さすこともなく五分ばかりぐるぐる回つて空高く飛んで行きました。みんなが見て「高田さん、あんたが一番来たかいがあった。旦那さんが会いに来たんだ。」と口々に言いました。

一週間のマニラをあとに、沖縄へ。みちのくの塔慰霊祭に参加し、二度と戦争のないように祈りながら、那覇空港から成田空港へと着きました。



マックスさん一家 日本の農業見聞。

このほど、アメリカのマックスさん一家6人が、蓬田村を訪問しました。2男のフレッドさんが、当村の倉谷弘孝さん（阿弥陀川）とペンフレンドということで、一行は7月10日から13日まで倉谷さん宅に滞在。畜産団地やナメコ栽培など村の農業を見学しながら農業後継者とも交歓。畳の和室が気に入ったと“日本の味”を満喫していました。

国勢調査にご協力を

もうすぐ十月一日——国勢調査の行われる日です。

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象に、五年ごとに実施されるもので、今回は十三回目になります。

この調査は、行政の運営や諸施策の立案・実施に必要な基礎資料を提供する、極めて重要な調査です。

調査員は、九月二十四日から三十日の間に、みなさんの家庭を訪問し、調査表をお配りします。

ご記入いただいた調査票は、

十月一日～五日の間に調査員が回収に伺いますから、そのときお渡しください。

調査票の記入は

黒鉛筆で!

調査内容は、男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態のほか、現住居への入居時期、通勤・通学先と利用する交通手段など全部で二十二項目です。

ご記入いただいた調査票は、総理府統計局に集められ、そのまま光学式マーク読取装置とい

■わが村の年齢5歳階級、男女別人口

(前回の昭和50年国勢調査報告書より)

年齢	男	女
85歳以上		
80-84		
75-79		
70-74	2,066人	2,305人
65-69		
60-64		
55-59		
50-54		
45-49		
40-44		
35-39		
30-34		
25-29		
20-24		
15-19		
10-14		
5-9		
0-4歳		

■産業別就業者(総数: 2,143)

第1次産業	第2次産業	第3次産業
1,307人 (61.0%)	304人 (14.2%)	532人 (24.8%)

- 第1次産業 農林業、漁業および水産養殖業をいう。
- 第2次産業 鉱業、建設業および製造業をいう。
- 第3次産業 卸売業、小売業、金融・保険業、不動産業、運送・通信業、電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業および公務をいう。

う機械にかけて集計します。この機械は、文字がわくからはみ出していたり、調票票が折れたり、曲がったり、汚れていると、正確に読み取ることができない場合がありますので、十分ご注意ください。

調査票への記入は、必ず「黒鉛筆」でお願いします。万年筆やボールペンは、たとえ黒でも絶対に使わないように。黒鉛筆以外は、「読取装置」が作動しません。

調査員がお伺いする時期に留守だったりする方は、役場統計係にご連絡ください。お忙しいとは思いますが、ご協力願います。

さわやかな汗流そう

学校体育施設開放事業



◎開放日と時間

グラウンド	平日(早朝) 5:00~7:30	体育館	平日 18:00~21:00
	土曜日 17:00~19:30		土曜日 13:00~21:00
	日曜日 9:00~17:00		日曜日 9:00~21:00

(土・日曜日の開放時間は、学校体育が優先されます。)

地域住民が気軽に出かけ汗を流せる社会体育施設が、当村にはまだありません。そこで、蓬田中学校の体育館とグラウンドを、学校教育に支障のない範囲で開放することになりました。今までも、子ども会活動、青年団活動、社会教育の面で利用してきましたが、これからは、開放委員会を設置し、利用者の手で管理運営することになります。

広く一般村民のスポーツ、レクリエーションの場として、親子で、個人で、グループで、大いに利用ください。

◎利用希望団体は、社会教育課内の開放委員会に連絡し、利用許可をうけてください。

●スクールバスからのお願いです……総務課・車両係

バス停には五分前に

スクールバスを利用しているお子さんの、父母の皆さんへお願ひします。

私たち乗務員は、可愛いお子さん方を交通事故から守るために最善の努力をしています。ところが、最近スクールバスの発車時間に遅れて来る子どもたちが多くなりました。一度バス停留所へ来てから用便へ行ったり、忘れものをして家へ帰ったりする子がいます。カバンを置いたまま遊びに行つて、停留所

にいないこともあります。そこで、次のことをお願ひします。

バ ス発車時間より五分前には、必ずバス停留所にいるように。

停 留所でバスを降りたら、一メートル以上バスから離れてください。バスが停留所から百メートル以上離れたら、左右を確認して道路を横断しなす。

（この事故は全国的に一番

多い。

保 育所、幼稚園児のお母さん方も、朝子どもたちをバス停留所へ送つて来ます。困るのは、停車中のバスの前後を通過道路を横断することです。対向車が来ていても、バスの陰になつて見えないので非常に危険です。

お 母さん方は、子どもたちが忘れものをしないように、明日の準備をしつかりさせてください。登校・登園には余裕を持って送り出してくれるよう、お願ひします。

犬の飼い主は、毎年一回登録し、年二回（春と秋）狂犬病の子防注射を受けなければなりません。犬の首には鑑札と注射済票を必ずつけることになつてい

愛犬を正しく飼ひましょう

てください。

飼い主は、犬に運動をさせる心がけも必要ですが、ひき運動をさせるときは必ず綱をつけてください。

もし、飼ひ犬を飼育できなくなつたときは、民生課衛生係に連絡し、てください。

蓬田村では現在、94頭の登録犬がいます。ところが、所有者不明の未登録犬が40頭ほど村内にいたことが確認されています。登録をしなかつたり、注射をしないと、いずれも三万円の罰金が課せられます。

飼ひ犬は、人に危害を加えないようにつないでおかなければなりません。放し飼ひは絶対やめましょう。飼ひ犬が人をおかんだときは、必ず保健所にとどけ



自衛官2等陸・海・空士志願案内

1. 募集受付期間

常時受付しています。ただし来春高校卒業予定者は、文部・労働両省から示された期日以降選考を開始します。

2. 応募資格

採用予定月の1日現在、18歳以上25歳未満の男子。

3. 試験科目

- ア. 筆記試験…国語、数学、社会、作文
- イ. 口述試験
- ウ. 身体検査 エ. 適正検査

◎試験期日は受付時にお知らせします。

4. 志願手続と連絡場所

- 志願者は、自衛隊青森地方連絡部 青森募集事務所まで連絡ください。
(青森市長島4丁目23の20)
(電話：35-1751)
- 志願書類は、役場窓口でも取扱っています。希望者はお相談ください。

又浦丸を守る良い子供ノ瀬辺地子供会



▲むらづくりの講習会



中沢地区“むらづくり運動”実践中

豊かな農村生活文化を

近年農村社会は、農家と非農家の混住化が進んでいます。それに伴い、農業生産活動や地域住民の連帯意識の面で、さまざまな問題が出てきました。蓬田村も例外ではありません。このような現状の中で、農村の良さを見直し、物心両面に豊かな地域づくりをめざす動きが現れてきました。

中沢地区では、県や青森地区農業改良普及所の働きかけもあり、「むらづくり実践集落

モデル事業」に取り組んでいます。

文化維持……伝統芸能、伝統料理の伝承

住民のエネルギーをひとつに結集

ひとつに結集

- ① 水田利用再編の強化
- ② 中核農家への農用地の集積
- ③ 生活環境の整備
- ④ 生産物の自給と加工利用
- ⑤ 伝承されてきた農村の生活

この事業のねらいは、水田利用再編の強化、中核農家への農用地の集積、生活環境の整備、生産物の自給と加工利用、伝承されてきた農村の生活

それには、集落内の各種団体（機能集団）がもつエネルギーをひとつに結集し、地縁的機能もいかしながら実施していくこととなります。

さまざまな視点からむらづくりを検討

むらづくり運動を円滑に進めるには、しっかりと組織が必要で、そこで、「中沢地区むらづくり推進委員会」（会長・吉田清光）が結成されました。

- 推進委員のメンバーには、
- 区長ほか部落委員
 - 農事振興会
 - 農事研究会
 - 青年団
 - 4Hクラブ
 - 老人クラブ
 - 母親クラブ
 - 子ども会世話人
 - 婦人会
 - 農協婦人部
 - 消防団

- 村議会議員
- 農協理事
- 農業委員
- 商店主
- これらの役員、代表者が加わっています。

集落内の各分野、各機能を担っている人々が集まることにより、さまざまな視点からこの運動を検討し、実践していくという考えです。

	部 会 別 内 容
農業部会	①水田再編対策と農産物販売流通の研究 ・土づくり ・適作物の研究 ・市場調査 ・消費者へのPR ・転作作目の選定、作付方法、管理について講習
生活部会	①明るく健康な家庭づくり ・家庭と合法の開発 ・子どものしつけ ・健康体操の普及 ②農家の嫁不足問題の解消 ・各種団体と連携をもち、交流会を開く。 ③生活改善 ・冠婚葬祭の見直し……部落の特色をいかした中沢方式で。費用を切り詰めるだけではなく、農村でなければ食べられないものを工夫する。
文化部会	①農業観、人生観の確立（生活信条の自己認識） ・むらの起こり、しくみ、歴史を考える。 ・仕事の価値判断、正しくものを見る尺度。 ・自然を生かした新しい農業の創造。 ②伝習館の建設 ・むらの歴史、農の心を部落の長老たちがいる内に伝え、後継者養成に役立てる。 ・農村工芸品の技術伝承、新しいものを生み出す場として。 ・伝習館は人々の知恵を集めて、子どもから大人まで参加してつくる。いろりなどをつけて、気軽に農談会ができるように。 ③郷土芸能農舞の創作 ・毎年秋に氏神に農舞を奉納する。 ・農作物、むらのしくみなどを振付けする。 ④冬期間の家内工芸品開発 ・農家の副業として、手工芸品、刺子、こぎん、編物、わら工品、竹細工、木工品、食品加工の開発と販売を考える。 ⑤豊かな心をつくる農道会 ・農家の生活にゆとりある心を……茶道、華道、礼法、料理、農談会、芸術鑑賞など趣味の会づくり。 ⑥環境整備と災害防止運動 ・交通安全、火の用心、防犯、村をきれいにする花木の栽植、神社仏閣・道路の清掃。

西こぎん



三つの部会で
実践活動へ

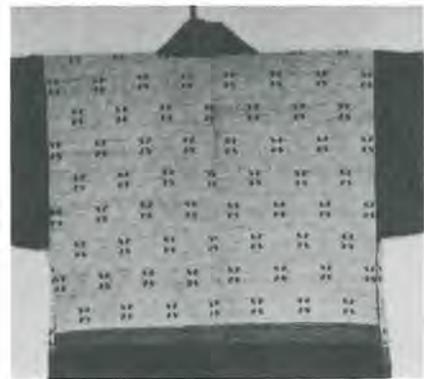
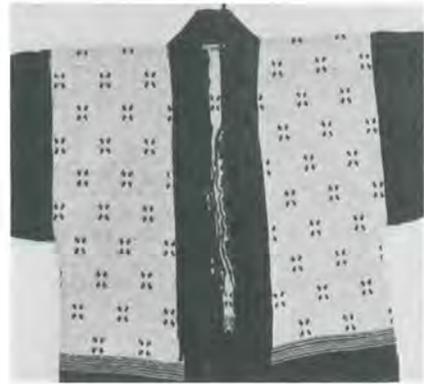
「むらづくり運動」は、昨年の十一月に実施した住民へのアンケート調査でスタートしました。

中沢地区の住民が毎日の暮らしの中で、どのような問題をかかえ、どのようなむらづくりを望んでいるかを把握するためです。

この調査をたたき台にして、数回にわたる検討会を開いた結果、

- ①農業部会（部長・坂本洋一）
- ②生活部会（部長・坂本静夫）

東こぎん



津軽こぎん二様式

津軽こぎんは、地域によって三つの呼び名があり、岩木川の流れる境に、西こぎん、東こぎん、三縞こぎんと分けて呼ばれています。

西こぎんは、中津軽郡一帯の西目屋村、相馬村、岩木町方面

東こぎんは、南津軽郡の平賀町、尾上町から黒石周辺。

三縞こぎんは、北津軽郡の金木町、西津軽郡の木造町、柏村、森田村一帯。

三地域のこぎんは、それぞれ特色を持っています。

西こぎん

肩を数本の縞で埋め、前身こ

東こぎん

布の糸もやや太目で布地も粗い。文様の特徴は囲みと流れを巧みに応用して、大胆な大柄模様が多い。

三縞こぎん

前身ごろの胸と後身ごろの背に、太い縞が三本入っている。この大胆な三本の縞入りで、遠くからでもはっきりと、部落仲間の印であることが見分けられた。

③文化部会（部長・坂本豊道）の三つに分けて実践活動に入ることが決まりました。部会ごとの本格的活動は、今年の春から始まっています。

津軽こぎん刺し

講習会

津軽地方は気候条件が綿の栽培に適さないため、木綿はぜいたく品とされた。農民は、木綿を上着とすることを藩令で禁じられ、自然の草花苧麻（からむし）を素材にした麻の衣を着た。この苧麻でつくられた労働着を小巾（こぎん）という。

津軽地方は気候条件が綿の栽培に適さないため、木綿は

ぜいたく品とされた。農民は、木綿を上着とすることを藩令

で禁じられ、自然の草花苧麻（からむし）を素材にした麻

の衣を着た。この苧麻でつくられた労働着を小巾（こぎん）という。

生活部会では手工芸として、

「津軽こぎん」の講習会を開いていきます。講師は津軽こぎん刺し研究家として知られる

工藤得子先生。参加者は二十五名ほどで、将来は農家の副業をめざすとあって、基本刺しを習う手つきも真剣そのものです。

初めは厳しい北国の寒さに耐えるため、布目を一面に白糸で刺して衣服の補強と保温を図った。しだいに装飾性も加わり幾可学的な藍と白の美をつくりだす。生活の知恵から生まれた巧みな刺し技は、母親から娘へと伝承されていった。……

「ヤング」 メッセージ

No.14



○郷 沢・19歳

大 宮 美保子

矛盾にとまどいながら…

社会人になって、もう二年目の私。時のたつのは早いなあ、つくづく感じるこのごろです。なにか自分は、ただなんとなく一日を過ごしているんじゃないかと不安を感じながら、また一日が過ぎました。

最初、会社に入ったころは、『さあ、がんばるぞー』という気持ちでいっぱいでした。なのに、時のたつうちに矛盾が生じてきて、とまどってしまいま

す。初めは対応できずに、いつも不愉快な思いでした。(今もそうですけど)それでも、矛盾は矛盾として受けとめ、私たちにはどうすることもできないんだという気持ちでわりきったら、気持ち少し柔らぎました。そうして、今だに勤めが続いています。

私は高校卒業と同時に、青年団活動に参加しました。今だから言えるけど、新人のころは、はつきり言って全然張り合いがありませんでした。勝手を知らなかったということも理由のひとつですが、私はただ与えられたものしかやっていなかったと思います。

防犯パトロールに一役かっています

蟹田地区防犯協会では、各支部に防犯指導隊を結成しています。当村には、坂本秀行氏を隊長に10人の指導隊員がいます。隊員のみなさんは、夜間の防犯パトロール。祭典、行事開催期間中のパトロール。少年非行の防止と健全育成活動に一役かっています。

- 隊長 坂本秀行
副隊長 吉崎忠治
隊員・吉田俊雄 ・工藤由光
・八戸与一郎・宮田一郎
・中川良次郎・田中 博
・柿崎勇蔵 ・久慈義弘



子ども会通信—No.3

郷沢子ども会



会長
福田浩一

今年、蓬田村子ども会代表と、子ども会世話人の合同会議で、

「部落対抗子ども会野球大会は、野球部員が多い部落ほど勝つ率が多い。今年、野球ではなくソフトにしたら、みんな気軽に競争できるのでないか。」

という意見が出た。それで、ソフトにしようとして決まった。

子ども会の行事で一番印象深いのは、道端のごみ拾いだ。

郷沢子ども会は、会長が中学二年生、副会長・書記・会計を中学一年生がやっている。なぜこんなに一年生が多いのかというと、一年生から何とも訓練だということで、こうなったのだ。それにもうひとつは、一年生は小学校をはなれてまだ半年もたっていないし、ぼくの言うことも後輩だからきいてくれる。

郷沢子ども会の欠点は、ど

朝七時に蓬田診療所前を出発し、玉松海水浴場方面へ向かった。臭いドブの中の空きかんを拾う。大きなビールの空きかんも拾い歩いた。最も多く空きかん類が落ちていたのは、玉松海水浴場に近い草むらの中だった。子どもたち数人と、世話人が二人だけ、みんなまじめにやってくれた。

玉松に着いてから、ジュースとアイスクリームをごちそうになった。苦労したかいがあったというもの。でも残念だったのは、参加してくれる人が少なかったことと、副会長、書記、会計の中から一人しかいなかったことだ。

汗を流して空きかん拾い

この部落でもそうだと思うけど次のことです。

せっかく集まって話し合いをしようと思っても、個人個人で話しかかりして、積極的に参加してくれないことだ。この欠点をさえないならば、とてもよくなる、ぼくは思っている。この問題をなくすにどうしたらよいか、真剣に考えたいと思う。



…… 8月11日 子ども会対抗球技大会に参加……

ガンバレ子ども会



郷沢子ども会世話人
工藤義正

No.3

私が郷沢子ども会の世話人になったのは、長男が郷沢子ども会の会長をやっていた五

十四年六月からです。郷沢子ども会の世話人が集まり、私にも世話人をやってくれというのでびっくりしただけです。

五十四年の活動内容をひとつふたつあげてみます。まずは郷沢駅清掃のことです。夏になると、キャンプや海水浴に来る人が多くなります。駅周辺に捨てられたゴミや空きかんは大変な量です。そこで子ども会では、駅をきれいに清掃しました。ついでに国道二八〇号線もきれいにしようと、郷沢部落のはじっこからはじっこまで空きかんひろいをしました。

これから郷沢子ども会がやってみたいことは、野球、水泳、ハイキング、キャンプ、ゲーム大会、フオークダンスなど。世話人や部落の青年団も集まってやってみたいと考えています。

世話人として苦労する点は、郷沢が漁業の部落であることです。夜の会議には出席してくれませんが、昼の会議や卓球大会、野球大会などになかなか出られません。

部落の皆さんも、子どもたちが一所懸命に活動をしている姿を見かけたら、ぜひひと声、「子ども会、ガンバレよ」と励ましてください。

友人に温かい励ましと手助け



このたび、蓬田中学校一年生の加賀美淳子さんが、日本善行会から、青少年善行者表彰を受けました。

淳子さんには、交通事故で障害を受けた幼なじみの友人がいます。友人とは家も近く

小学校入学当時から、登下校の誘いかけはもちろん、学校生活の面で手助けを惜しまず、温かく励ましてきました。このような親身な世話で友人の表情も明るくなり、友だちも増え、両親からも大変感謝さ

青少年善行者表彰を受賞

○ 加賀美 淳子

れています。

今回の表彰は、六年間にわたる友人への思いやりと奉仕の心が認められたものです。

表彰式は東京の明治神宮参集殿で行われ、お母さんと一緒に出席しました。

淳子さんは「自分が行った小さな行為が、こんなにも大きく認められ、思いがけなく表彰をいただき身のひきしまる思いです。これからも、今私にできることがあれば、どんな小さなことでも精一杯がんばって、やり遂げたいと思います。」と語ってくれました。

◎ 加賀美さんはこれと同じ内容で、村表彰と青森県教育長から善行表彰を受けています。

9月行事予定表

7日	蓬田中学校運動会
8日	秋の大掃除検査 (中沢、蓬田)
9日	秋の大掃除検査 (郷沢、高根)
12日	敬老会
12日	玉松公民館 午前十時 婦人スポーツの集いりハ ーサル(県総合運動場)
20日	「青少年ふるさと運動」 中央公民館
21日	青森県婦人スポーツの集 い(県総合運動場)
28日	



戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,526人)

6月・7月受付分

◎お誕生おめでとうございます

- 八戸 哲亜 (知佐雄・2男)
- 八戸 睦津美 (久志・2女)
- 藤本 禎 (次郎吉・2男)
- 福田 基志 (廣志・2男)
- 越田 麻衣子 (喜信・長女)
- 佐井 妙子 (俊光・2女)
- 八戸 梨絵 (隆三・長女)
- 森 直美 (志朗・長女)
- 福井 忠義 (保・長男)
- 武井 佐知 (俊悦・長女)
- 宮田 憲行 (憲造・長男)
- 藤本 未来 (秀人・長女)
- 工藤 祐輝 (光雄・長男)
- 越田 勝也 (政憲・2男)
- 田中 菜津子 (正一・2女)
- 吉田 康太 (康治・長男)
- 坂本 啓 (信嘉・長男)

◎ご結婚おめでとうございます

- (木立 春彦 (青森市)
- (青木 千歳 (阿弥陀川)
- (阿保 武則 (青森市)
- (中川 つる (郷沢)
- (田中 歳松 (北海道)
- (青木 梅子 (阿弥陀川)
- (森 淳一 (阿弥陀川)
- (名古屋 敬子 (中沢)
- (小山 善一郎 (東京都)
- (福田 幸子 (郷沢)
- (坂本 保 (中沢)
- (豊川 弘子 (青森市)
- (池田 昌功 (東京都)
- (飯田 留美子 (瀬辺地)
- (坂本 上 (長科)
- (北田 智子 (東京都)
- (柿崎 治己 (広瀬)
- (荒谷 美恵子 (青森市)
- (三橋 純治 (青森市)
- (佐藤 絹子 (中沢)
- (佐井 昭博 (広瀬)
- (宮崎 芳枝 (東京都)
- (赤坂 秀美 (中沢)
- (照井 美佐緒 (千葉県)
- (青木 正 (阿弥陀川)
- (佐々木 美保子 (青森市)

◎お悔み申し上げます

- 飯田 ろと (90歳・瀬辺地)
- 蛸名 さた (72歳・広瀬)
- 木村 岩五郎 (69歳・蓬田)
- 中村 政五郎 (77歳・蓬田)
- 武井 誠治 (54歳・蓬田)
- 久慈 健三 (71歳・広瀬)

八月中は村内のあちこちで宵宮・神楽・盆踊りが開かれました。このような中で少しさみしく思うのは、私たちの村に鶏舞や荒馬、農舞など地域住民の手で伝承されてきた郷土芸能がないことです。昔はあっても、途中で伝承がとぎれたのでしょうか。

あとながき